

活動報告

<p>団体名</p>	<p>安平町子ども未来義援金</p>
<p>活動名</p>	<p>被災地における児童生徒の学習支援に関する活動</p>
<p>活動期間</p>	<p>2018/11/5 ~ 2019/03/31</p>
<p>活動の成果</p>	<p>活動で得られた成果は、定量的には「中3生登録率 63%※早来中（当塾エリア）のみ」「中3生通塾率 77%※早来中（当塾エリア）のみ」「第一志望校合格率 100%」、定性的には「学校や自宅以外の自習スペースの確保」「家庭の経済状況を問わない学習支援体制の整備」「自身の将来や未来について考える機会の提供」がございました。</p> <p>活動を始める前は、先述したように「場の提供」「考える機会の提供」「自主性の涵養」の三点を目標に置いておりました。実際に活動を行ってみて、下記のような結果・課題がございます。</p> <p>①「場の提供」…「北海道胆振東部地震を機に従来通りの環境で学習することが困難となった生徒に、落ち着いて勉強できる『場を提供すること』については、100%達成できたと考えます。主な理由としては、期間中に一度も休塾せず、当初の予定通り3月までやりきったためです。</p> <p>②「考える機会の提供」…「生徒らに自分自身の将来や未来について『考える機会を提供すること』については、70%達成できたと考えます。ALTによる「英会話クラス」や様々な職業のプロフェッショナルによる「特別講義」への参加率は高く、あらゆる「世界」や「ホンモノ」に触れる機会は提供できたものの、生徒が自分自身を内省する機会までは整備できなかったためです。今後は、「自分を知る」ための内省プログラムも併せて実施し、インプットのみならずアウトプットもしやすい素地を作ることが課題です。</p> <p>③「自主性の涵養」…「活動を通して『自主性を涵養すること』については、50%達成できたと考えます。主な理由としては、運営として生徒が自主的・主体的に行動できるような雰囲気を作りきれなかったことが原因で、一部の生徒しかそのように行動できなかったためです。今後は、生徒一人ひとりとの面談を通して各人の興味関心を知り、自主的・主体的に行動したくなるような環境を整えることが課題です。</p>
<p>寄付者へのメッセージ</p>	<p>まずはじめに、ご寄付をいただきました企業・団体・個人の皆様に厚く御礼申し上げます。皆様の温かいご支援のおかげで、震災後すぐから受験終了タイミングの3月まで、一度も休塾することなく活動を続けていくことができました。また、活動に関しましても、「自習スペースの提供」ととどまらず、「プロフェッショナルによる特別講義」や「31時間勉強合宿」等の様々なプログラムを提供することができました。皆さまからのご支援なくしては、作り上げることのできない学び舎になったと思います。</p> <p>震災から早や7ヶ月が経過し、今後はより一層「復興」の文脈を強くした教育事業を作り上げていく必要がございます。子ども達が未来に向かって前向きに進んでいけるよう、また、応援して下さった皆さまに笑顔でまたご報告ができるよう、一つずつ形にしてまいりたいと思います。今後とも安平町をよろしくお願ひいたします。</p>

(活動のようす)

